

障害福祉サービス共通評価基準 概評 [各シート共通]

○概 評

①非該当とした項目（放課後等デイサービス、児童発達支援については「いいえ」とした項目）の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

3. スロープを設置しているが、2階建ての戸建であるため階段等の段差は残る。

4. 勤務時間の都合上、常勤職員が中心となっている。

7. 外部の評価機関を把握できていない。

14. 職員が個別に対応する個別支援をメインにしているため、集団の活動はスポット的にしか取り入れていない。

16. 退勤時間がバラバラなので、全員そろっての業務終了後の情報の共有ができてない。

22. 医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていない。

23. 小学校高学年以上の児童が多いため、保育所、幼稚園等の情報共有は行っていない。

24. まだ高校を卒業する児童がいない。今後の対応が課題となる。

29. 十分にできていない。

サービス改善計画書

策定日：令和6年3月8日

事業・サービス名：放課後等デイサービス

施設・事業所名：ウイズ・ユーマirai

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
14. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		現状、個別支援が中心のプログラムとなっている。	個別支援後は集団で対応する時間帯もある。その時間を活用して小学生中心にカードゲーム等、集団で遊べる内容を取り入れていく。中学生以上は定期的に行う地域イベントへの参加を促す。	2024年4月	小田	カードゲームの費用は事業所経費から支払い。
16. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		職員の退勤時間や業務がバラバラで、支援終了後にまとまった時間をとることが困難。	全員そろっての振り返りは難しいので、連絡ノートやアプリ等の活用を検討し、情報共有に努める。	2024年5月	小田	必要な費用は事業所経費から支払い。
24. 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		現状は高校を卒業した児童はいないが、今後、高校生の児童が増えてくるので対応が必要。	児童の進路先に必要な情報提供を行うようにする。	2024年度中	小田	必要な費用は事業所経費から支払い。
29. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		必要な助言は行っているが、公にペアレント・トレーニングの場は設けられていない。	今年度は性教育について外部講師を招き職員に研修を行った。同じように保護者向けにも外部講師の力を借りて必要な研修を行っていく。	2024年度中	小田	必要な費用は事業所経費から支払い。